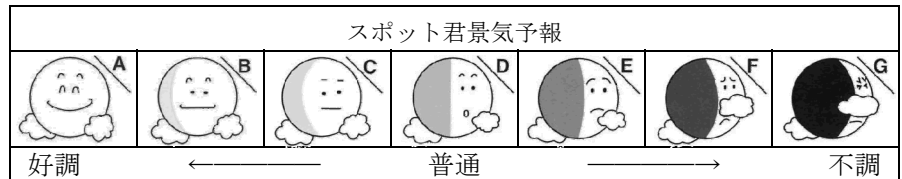


## 2. 目黒区内中小企業の景況（平成26年7～9月期）

### （1）今期の特徴点



### 製造業



製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 15.2$ で前期比5.9ポイント増と大きく改善した。売上額は $\Delta 12.0$ で6.1ポイント増、受注残は $\Delta 9.8$ で6.3ポイント増、収益は $\Delta 12.0$ で10.4ポイント増となり、いずれも大幅に改善した。来期の見通しについては、売上額はわずかに改善、受注残は今期並、収益はわずかに悪化すると予想されており、業況はやや改善する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 4.4$ で6.0ポイント増と大きく下降幅が縮小したが、原材料価格は19.0で8.4ポイント増と上昇が強まった。在庫は1.7ポイント減の $\Delta 1.9$ と不足感が強まった。来期の見通しについては、原材料価格は今期並の上昇、販売価格は今期並の下降が続き、在庫は今期並の不足感が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 12.6$ で7.7ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 9.4$ で大幅に厳しさが強まり、借入をした企業は19.6%で2.6ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は5.1%で前期並となった。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 12.1$ と今期並となり、借入をする企業は19.6%で今期と同水準となり、設備投資を実施する企業は5.2%で今期並の実施となる見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で48.0%となった。2位は「売上の停滞・減少」で44.9%、3位は「利幅の縮小」で29.6%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で58.2%となった。2位は「販路を広げる」で55.1%、3位は「情報力を強化する」で17.3%となった。前期から1位と2位が入れ替わった。

### 卸売業



卸売業の主要指標をみると、業況は0.3ポイント増の $\Delta 5.3$ と前期並の厳しさが続いた。売上額は2.0で1.5ポイント減とやや悪化し、収益は $\Delta 8.1$ で2.1ポイント減と幾分悪化した。来期の見通しについては、売上額、収益ともに悪化するものの、業況は幾分改善する見込み。

価格動向については、販売価格は8.2で0.3ポイント増と前期並の上昇幅が続いたが、仕入価格は2.7ポイント減の14.0とわずかに上昇幅が縮小した。在庫は0.3ポイント減の $\Delta 0.6$ と前期並の不足感が続いた。来期の見通しについては、販売価格は下降に転じ、仕入価格はやや上昇傾向が弱まり、在庫はやや不足感が強まる見込み。

資金繰りは $\Delta 4.9$ で9.9ポイント増と大幅に改善した。借入難易度は6.9ポイント増の16.0と大幅に改善し、借入をした企業は25.0%で5.0ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は7.1%と3.1ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 8.7$ とやや厳しさが増し、借入をする企業は17.9%と大幅に減少する見込み。設備投資をする企業については0.0%と大きく減少する見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で53.6%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で42.9%、3位は「利幅の縮小」で32.1%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」と「販路を広げる」が同率の67.9%で並んだ。次いで2位は「情報力を強化する」で39.3%、3位は「品揃えを充実する」で25.0%となった。

## 小 売 業



小売業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 26.6$ で1.8ポイント増とわずかに改善した。売上額は $\Delta 21.2$ で3.7ポイント減、収益は $\Delta 25.2$ で4.5ポイント減と、いずれも幾分悪化した。来期の見通しについては、売上額、収益ともに大きく改善し、業況はやや改善する見込み。

価格動向については、販売価格は1.3ポイント増の7.4と前期並の上昇幅となった。仕入価格は16.1で3.4ポイント増とわずかに上昇幅が拡大した。在庫は7.2ポイント減の1.0で大幅に調整が進んだ。来期の見通しについては、販売価格は4.5、仕入価格は11.1といずれもやや上昇傾向を弱め、在庫は4.2となり幾分過剰感が強まる見込み。

資金繰りは $\Delta 27.0$ で3.0ポイント増と厳しさが若干和らいだ。借入難易度は $\Delta 4.7$ で前期の0.0からわずかに厳しさが強まり、借入をした企業は0.2ポイント減の5.8%で前期並となった。設備投資動向については、設備投資をした企業は8.2%で前期と同水準となった。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 21.2$ と大きく厳しさが和らぐが、借入をする企業は3.8%と若干減少し、設備投資をする企業は6.1%とわずかに減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で59.6%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で42.3%、3位は「大型店との競争の激化」で34.6%、4位は「商店街の集客力の低下」で21.2%となり、上位4位に変動はなかった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で48.1%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で44.2%、3位は「宣伝・広告を強化する」で34.6%となり、前期から1位と2位が入れ替わった。

## サービ ス 業



サービス業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 8.9$ で2.5ポイント増とわずかに改善した。売上額は0.5ポイント減の $\Delta 6.0$ で前期並となったものの、収益は4.3ポイント増の $\Delta 8.2$ と幾分改善した。来期の見通しについては、売上額がわずかに改善するものの、収益は今期並となり、業況も今期並で推移する見込み。

価格動向については、料金価格は3.1ポイント減の $\Delta 1.1$ となり、3期ぶりに下降に転じた。材料価格は19.5で5.9ポイント増と大きく上昇幅が拡大した。来期の見通しについては、料金価格は $\Delta 5.4$ でやや下降幅が拡大する一方、材料価格は10.3ポイント減の9.2と大きく上昇幅が縮小する見込み。

資金繰りは、 $\Delta 3.9$ で2.5ポイント増とわずかに厳しさが和らいだ。借入難易度は3.9ポイント減の $\Delta 3.9$ とわずかに窮屈感が強まった。借入をした企業は9.8%で2.1ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は12.1%で前期並となった。来期の見通しについては、資金繰りは今期並の厳しさが続くものの、借入をする企業は大幅に増加、設備投資をする企業は今期と同水準となる見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で63.9%、2位は「売上の停滞・減少」で39.3%、3位は「取引先の減少」と「利幅の縮小」が11.5%で並んだ。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で60.7%、2位は「販路を広げる」で42.6%、3位は「宣伝・広告を強化する」で21.3%、4位は「人材を確保する」で14.8%となり、上位4位に変動はなかった。

# 建設業



建設業の主要指標をみると、業況は 8.6 で 4.6 ポイント増とわずかに改善した。売上額は 12.7 で 9.6 ポイント減、受注残は 10.3 で 8.3 ポイント減といずれも大きく悪化したが、収益は 8.9 で 1.4 ポイント減と前期並、施工高は 18.0 で 2.7 ポイント増とわずかに改善した。来期の見通しについては、売上額、受注残、施工高、収益はいずれも大幅に悪化し、業況も幾分悪化する見込み。

価格動向については、請負価格は 7.9 ポイント増の 7.5 と 2 期ぶりに上昇に転じ、材料価格は 10.5 ポイント増の 49.3 と大きく上昇幅が拡大した。在庫については  $\Delta 2.8$  で 0.5 ポイント増と前期並の不足感が続いた。来期の見通しについては、請負価格はわずかに上昇幅が縮小する一方、材料価格は大きく上昇幅が縮小する見込み。

資金繰りは、 $\Delta 15.9$  で 1.8 ポイント減とやや厳しさが増した。借入難易度は 7.9 ポイント減の  $\Delta 2.6$  と 2 期ぶりにマイナスに転じ、借入をした企業は 22.5% で 9.2 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 2.6% で 4.9 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは  $\Delta 11.4$  とやや厳しさが和らぐが、借入をする企業は 12.5% と大きく減少するとみられる。設備投資を実施する企業は 2.6% で今期と同水準となる見込み。

経営上の問題点は、1 位は「同業者間の競争の激化」で 47.5% となったが、前期より 13.5 ポイント減少した。次いで 2 位は「利幅の縮小」で 35.0%、3 位は「材料価格の上昇」で 32.5% となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」で 60.0%、2 位は「販路を広げる」で 50.0%、3 位は「人材を確保する」で 35.0% となった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

